

令和元(2019)年度
FD・SD 活動報告書

大阪河崎リハビリテーション大学
FD・SD 委員会

目 次

はじめに	2
活動の概要	3
1. 令和元年度 FD・SD への取り組み理念・目的	3
2. FD・SD 活動の組織・体制	3
3. 活動実績	3
4. FD・SD 研修会記録	6
5. 授業評価アンケート分析結果	13
FD・SD 委員会規程	31

《はじめに》

本学を取り巻く状況は大変厳しい中、大学として最も重要な教育とそれを支える教職員の教育法や資質向上、情報交換のために、2019年度も多数のご協力を得てFD・SD活動を行ないました。今後の参考と資料とするために、2019年度FD・SD研修会の実施内容、授業評価集計結果等を活動報告書としてまとめました。各層で有意義にご活用頂ければ幸いです。

本学では平成19年度より開講される授業について、受講者による評価を開始しました。本年度も、学生の皆さんと、非常勤をお願いしている先生方も含めた担当教員の多大なるご協力を得て、事務方には各授業に対する取りまとめを含め大変な作業をしていただき、後半部にまとめることができました。関係の皆さんに厚く御礼申し上げる次第であります。

授業評価のねらいは、本学で行われるもっとも重要な教育活動である授業を、少しでもより良いものに向かわせていくことであります。そのために、実際に授業を受ける立場である学生諸君に積極的な評価をしていただき、成績評価等には関係が生じないよう十分な配慮をした上で、集計しました。この報告書には本学の開講授業全体でまとめた、各質問項目別の集計結果を記載してあります。実際の各授業科目別の集計については、個別の開講科目について集計結果と自由記載文をとりまとめて担当教員にフィードバックするとともに、評価平均が3.1以下の科目については、武田学長と寺山副学長より各担当教員に個別に直接フィードバックを行います。現段階では、諸般の事情を鑑み、各科目別集計結果をそのまま公表するところまでは踏み込んでいません。各担当の先生方には、個別に、自らの授業設計や講義運営についての忌憚のない評価結果を、まずはこの報告書にもある全体平均と比べながらご判断いただき、間に合えば残りの授業反映していただきました。その上で、学生さんへの授業の受け取られ方を、各項目が示している様々な面から自己評価して、今以上に工夫してより良い授業を行うように自己研鑽に励んでいただいています。

平成28年度に、今までに頂いた意見を基に評価項目の改定を行いました。授業評価を行うことで少しずつであるが有意義な効果が出ているものと思われます。もちろん、評価する側の学生にとっても、授業への取り組みを今一度真剣に考える機会になっていることを期待するものです。今後教員層による相互評価も含め、各種検討課題を考慮しながら、授業評価をかさねることで、先生方による本学の開設授業がいずれもすばらしいものにさらに向上発展していくこと、授業を受ける学生諸君が、よりよい授業に触れて素晴らしい療法士に育ってくれることを、FD・SD委員会を代表して切に願うものであります。また、アンケートの取りまとめと報告書作成はFD・SD委員会が担当しましたが、アンケートの実施は事務局学務係を中心に分担し、分析についてはIR室の協力を得て行いました。末筆ながら委員会各位、担当事務職員の方々のご協力に感謝いたします。

2020年5月

FD・SD委員会 委員長 坪田裕司

活動の概要

1. 令和元年度 FD・SD への取り組み理念・目的

建学の精神「夢と大慈大悲」、教育理念「知育と人間性を育む」を達成するために、FD・SD 活動を通じて教育・研究活動等を活性化させる。

大学全入時代に突入し、本学学生が学力不足であることは否めない。専門にとらわれず、大学生として（あるいはセラピストとして）求められる基礎的な学習技能や学修態度（倫理的思考、批判的思考）について大学教育を通じて培う必要がある。

そのため、教職員の教育・研究活動等の能力向上を図る必要がある。FD・SD 研修や授業評価等を行い、授業の内容及び方法の改善等を目的とする。

以上の理念・目的から、教職員は本研修に必ず参加することとする。

2. FD・SD 活動の組織・体制

FD・SD 委員会を中心に実施し、各種委員会と適宜連携して取り組む。

3. 活動実績

(1) FD・SD 研修会

令和元年度は以下のテーマで全 7 回の FD・SD 研修会を開催した。出席率は約 73.4%であり、欠席者に対しては、個別研修の実施又は資料の配布によるフォローアップを行った。

令和元年度 FD・SD 研修会実績

回	日程	テーマ	参加者数
第 1 回	4 月 9 日	■ 令和元年度事業計画について ■ 新入の障がい学生への配慮について	教員 28 人 職員 15 人
第 2 回	6 月 11 日	■ 働き方改革関連法案の概要等説明 ■ 平成 30 年度後期事業評価のフィードバック ■ 2019 年度の広報について	教員 30 人 職員 22 人
第 3 回	8 月 27 日	■ 成績評価の FD ■ 新任教員による研究発表	教員 29 人 職員 15 人
第 4 回	9 月 17 日	■ 研究倫理教育 「認知症研究で必要な倫理的な配慮について」 ■ コンプライアンス教育 ■ 科学研究費補助金説明	教員 28 人 職員 15 人
第 5 回	11 月 5 日	■ 高等教育の修学支援新制度（在学予約採用）について ■ ルーブリック評価について ■ ICT を活用した授業 ■ 学内ネットワークの整備状況と利用について	教員 27 人 職員 20 人
第 6 回	12 月 3 日	■ シラバスについて ■ 大学の状況と対応について ■ 2019 年度前期 学生による授業評価アンケートについて	教員 27 人 職員 17 人
第 7 回	3 月 3 日	■ 広報関連 FD 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ	教員 33 人 職員 17 人

(2) 関西地区 FD 連絡協議会等、外部研修

① 第 12 回総会出席

日時：令和元年 5 月 11 日（土）

場所：大阪大学（豊中キャンパス）

基礎工学部国際棟 シグマホール

出席者：坪田 FD・SD 委員長

② その他各種研修会・研究会への参加

(3) 学生による授業評価アンケート

① 対象授業科目

以下の科目を除く全科目を対象に実施

（基礎ゼミ、臨床見学実習、臨床実習概論、臨床検査・測定実習、臨床基礎実習、臨床総合実習Ⅰ、臨床評価実習、臨床総合実習Ⅱ、臨床総合実習、卒業研究、卒業論文）

② 実施時期、方法

期末、web 形式で実施

③ アンケート項目

質問票参照

④ フィードバック

シート返却による個別フィードバック及び FD・SD 研修会による全体のフィードバック

⑤ 回収率

前期：27.4%

後期：25.4%

⑥ 各分析結果

「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

4. FD・SD 研修会記録

研修会名	2019 年度 第 1 回 FD・SD 研修会
実施日時	2019 年 4 月 9 日（火）14：30～16：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
出席者	【教員】28 名 【職員】15 名 計 43 名
欠席者対応	資料配布 【教員】7 名 【職員】13 名 計 20 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
建学の精神と事業計画	亀井学長	資料に沿って学長から 2019 年度の目標と事業計画の説明があった。
新入の障がい学生の配慮について	PT 肥田先生 OT 谷口先生 石川先生 ST 馬屋原先生	各専攻に入学した障がい学生の配慮について 各担当教員から説明があった。

【配布資料】

- ・2019 年度事業計画について
- ・ワイヤレス補聴システム/送信機の使用方法（ST 専攻）

研修会名	2019 年度 第 2 回 FD・SD 研修会
実施日時	2019 年 6 月 11 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 小講義室
出席者	【教員】30 名 【職員】22 名 小計 53 名 個別説明 【教員】5 名 【職員】6 名 小計 11 名 合計 【教員】35 名 【職員】28 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
働き方改革関連法案の概要等について	佐波 総務課長	資料に沿って働き方改革関連法案の概要等及び、本学での対応等の説明があった。
授業評価フィードバック	坪田 FD・SD 委員長	資料に沿って説明があり、今後の授業評価フィードバックについて種々意見交換された。
2019 年度の広報について	中裕広報委員長	資料に沿って 2019 年度の広報について説明があった。参加者からさまざまな意見やアイデアの提案があった。

【配布資料】 ・働き方改革 ～一億総活躍社会の実現に向けて～ ・平成 30 年度後期学生による授業評価アンケート集計結果 ・2019 年度 広報実施計画

研修会名	2019 年度 第 4 回 FD・SD 研修会
実施日時	2019 年 9 月 17 日（火） 11：00～12：10
場所	1 号館 4 階 小講義室
出席者	【教員】 28 名 【職員】 15 名 小計 43 名 個別説明 【教員】 6 名 【職員】 14 名 小計 20 名 合計 【教員】 34 名 【職員】 29 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
研究倫理教育 「認知症研究で必要な倫理的配慮について」	武田 認知予備 力研究セ ンター長	資料に沿って働き方改革関連法案の概要等及び、本学での対応等の説明があった。
研究倫理について	中村 研究倫理 委員長	資料に沿って説明があった。
コンプライアンス教育	喜田 事務局長	資料に沿って説明があり、全職員に誓約書及び理解度アンケートの提出を依頼した。
科学研究費補助金等について	事務局 庶務係担当 (園田)	資料に沿って 2020 年度における科学研究費助成事業について説明があった

【配布資料】 ・精神医学領域の臨床倫理・研究倫理 ・研究倫理について ・令和元年度 コンプライアンス教育・研修 ・科研費の応募について 2019.9.17 ・令和 2（2020）年度科学研究費助成事業（科研費）について
--

研修会名	2019年度 第5回FD・SD研修会
実施日時	2019年11月5日（火）13：00～14：10
場所	1号館4階 第2中講義室
出席者	【教員】27名 【職員】20名 小計 47名 個別説明 【教員】6名 【職員】14名 小計 20名 合計 【教員】34名 【職員】29名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
高等教育の修学支援新制度（在学予約採用）について	山埜教務課長	高等教育の修学支援新制度（在学予約採用）について資料及びスライドに沿って説明があった。
ループリック評価について	FD・SD委員会事務担当（田中）	資料に沿って説明があった。
ICTを使った授業について -学内ネットワークの整備状況と利用について- 授業評価アンケート 会議体のペーパーレス化について	坪田 FD・SD委員長	学内のネットワーク整備に伴い、ICTに係る事項、及び授業評価アンケート、会議体のペーパーレス化について資料を基に説明があった。

【配布資料】 ・ 高等教育の修学支援新制度 ・ ループリック評価について ・ ICTを使った授業への展開

研修会名	2019 年度 第 6 回 FD・SD 研修会
実施日時	2019 年 12 月 3 日（火）13：00～14：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
出席者	【教員】27 名 【職員】17 名 小計 43 名 個別説明 【教員】8 名 【職員】11 名 小計 19 名 合計 【教員】34 名 【職員】28 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
シラバスについて	中村 教務委員長 中西 学務係長	資料に沿って 2020 年度のシラバス 記入要領について変更点等説明が あった。
大学の状況と対応について	亀井学長 小西 入試委員長 中裕 広報委員長	亀井学長から現在の大学の状況につ いて意見が述べられ、小西入試委員 長、中裕広報委員長から入学試験の 現状及びこれからの広報活動につ いてスライドを使用して説明があっ た。
2019 年度前期 学生によ る授業評価アンケート集 計結果について	坪田 FD・ SD 委員長	2019 年度前期 学生による授業評 価アンケート集計結果をまとめた資 料が配布された。

【配布資料】 ・ 2020 年度 シラバス記入要領の変更点について ・ 2020 年度 シラバス記入要領 ・ 2019 年度前期 学生による授業評価アンケート集計結果
--

研修会名	2019 年度 第 7 回 FD・SD 研修会
実施日時	2020 年 3 月 3 日（火）14：30～16：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
出席者	【教員】33 名 【職員】17 名 小計 50 名 個別説明 【教員】2 名 【職員】11 名 小計 19 名 合計 【教員】35 名 【職員】28 名

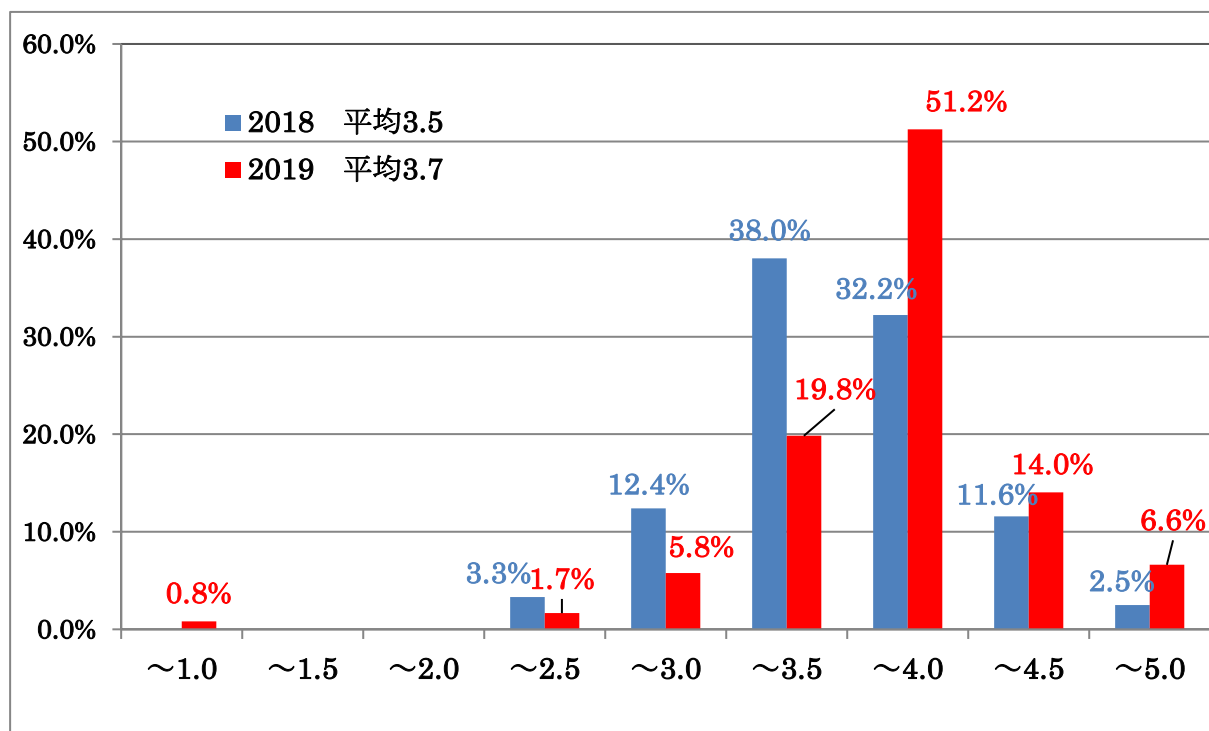
研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
2020 年度センター入試・一般前期入試の傾向と分析報告会	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ	資料に沿って 2019 年度の入試傾向、2020 年度から 2021 年度にむけての入試等の予想や傾向及び他大学の入試改革や分析結果について講演があった。

【配布資料】 ・ 2020 年度センター入試・一般前期入試の傾向と分析報告会
--

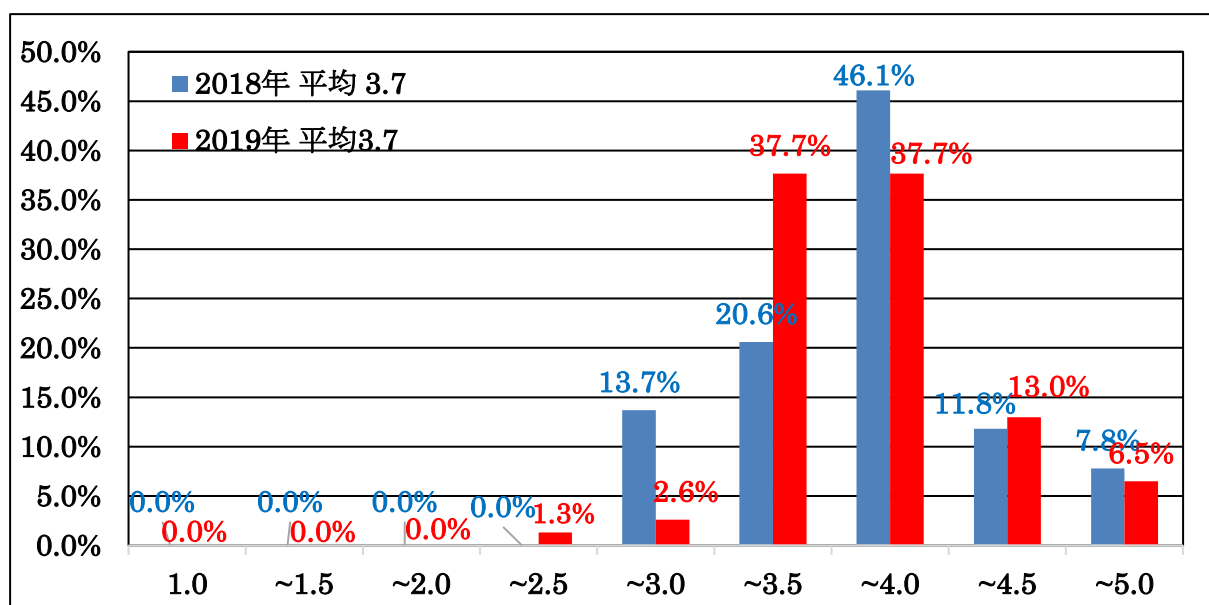
5. 授業評価アンケート分析結果

1. 質問や発言など、あなたは授業に積極的に取り組みましたか。

【前期】

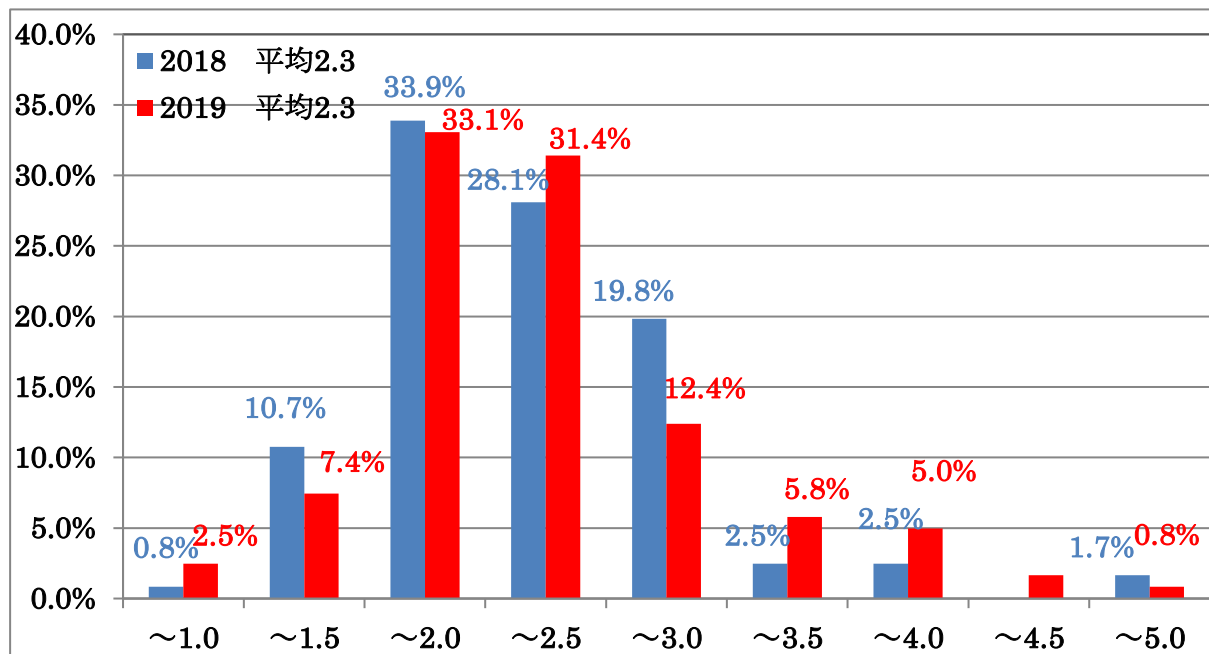


【後期】

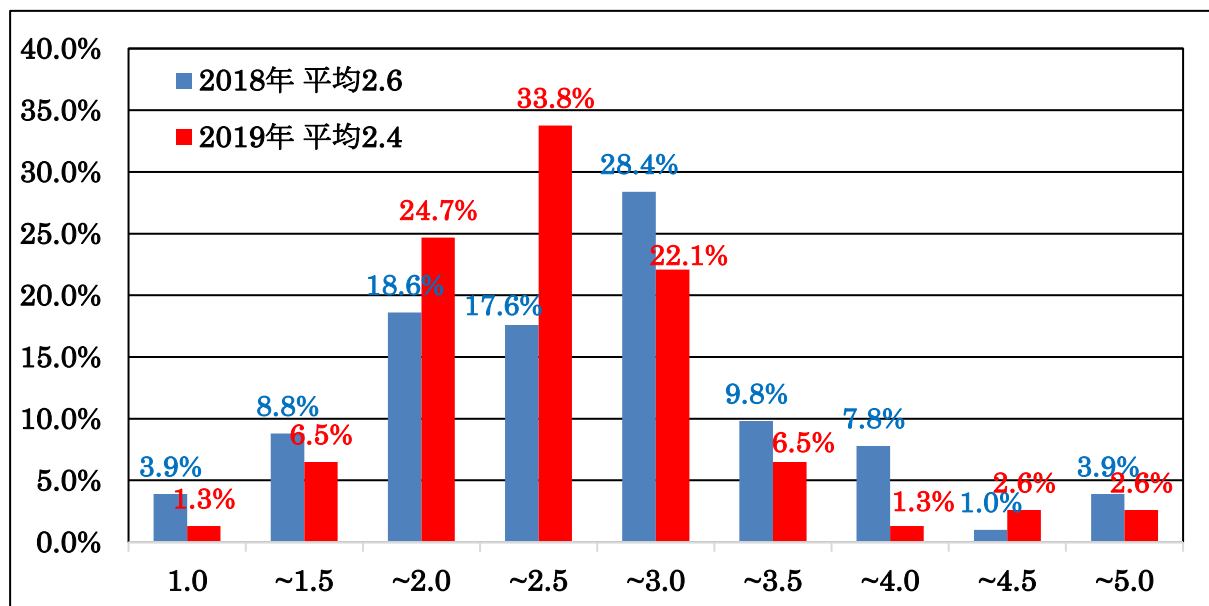


2. この授業の予習・復習・レポートの作成等に 1 週間で何時間取り組みましたか。

【前期】

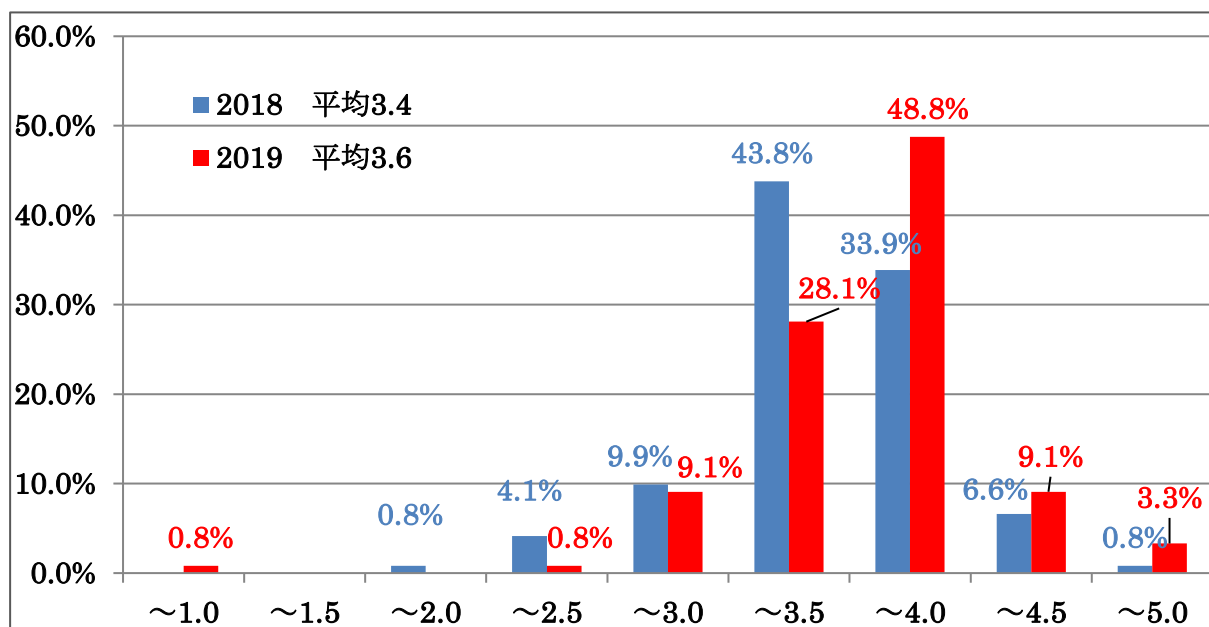


【後期】

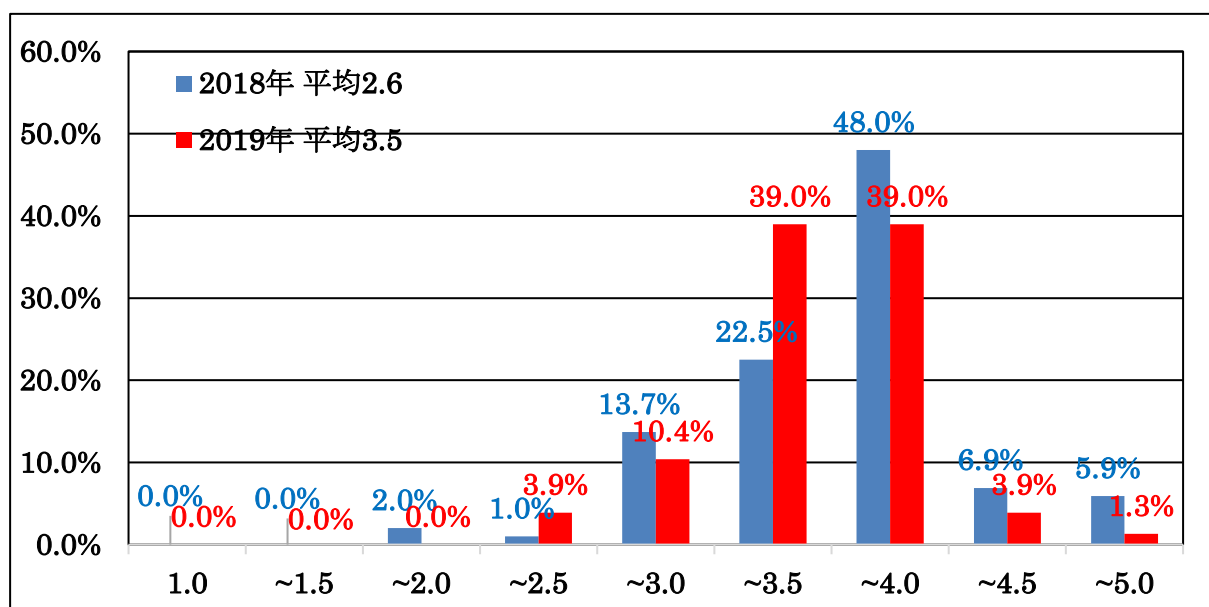


3. 以前、もしくは現在学んでいる他の科目とのつながりが理解できましたか。

【前期】

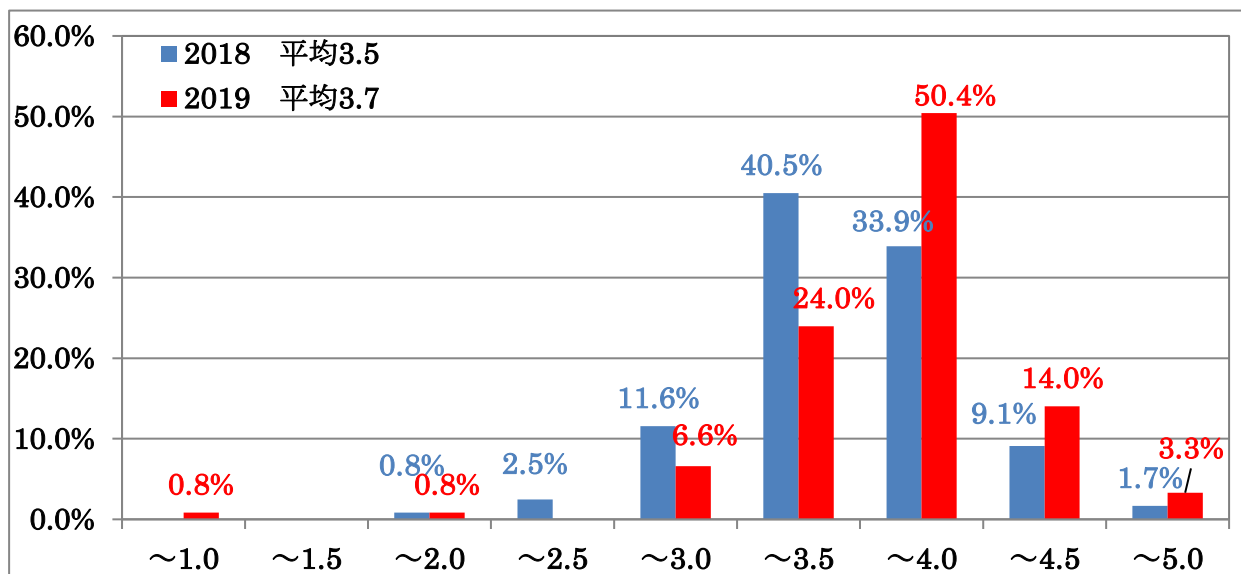


【後期】

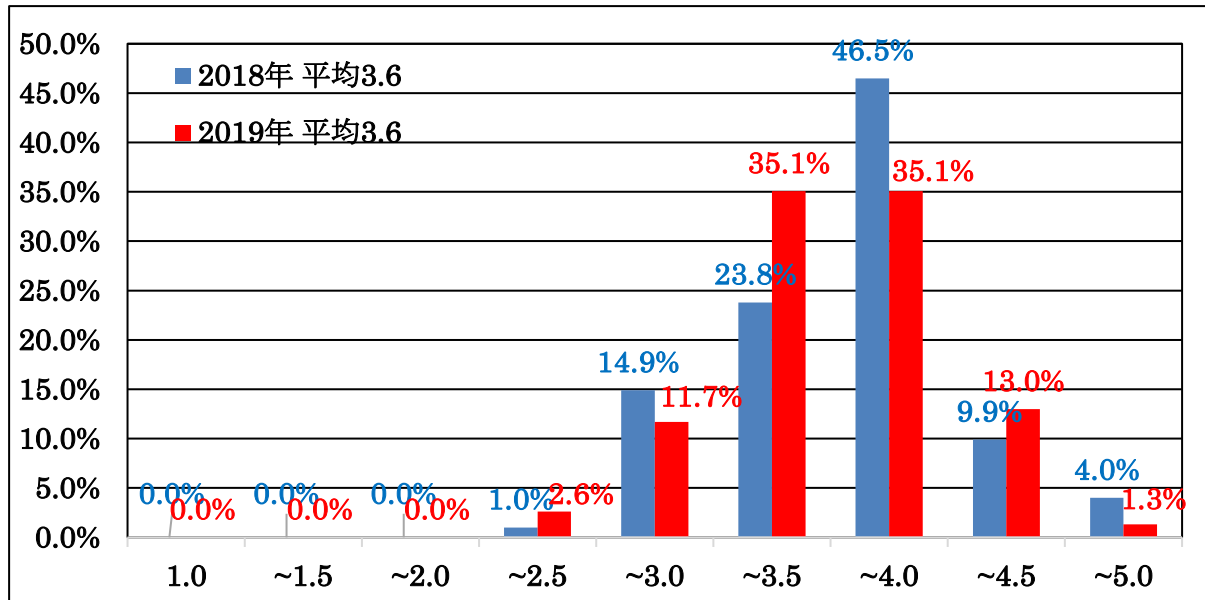


4. シラバス等で、授業の目的、内容、成績評価の基準は適切に示されていましたか。

【前期】

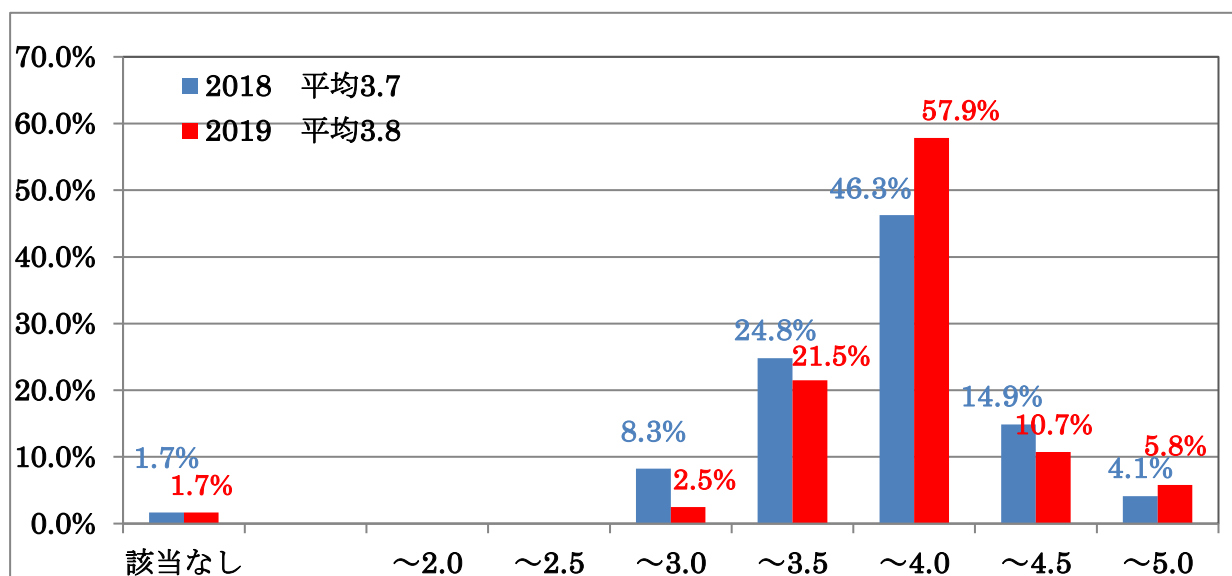


【後期】

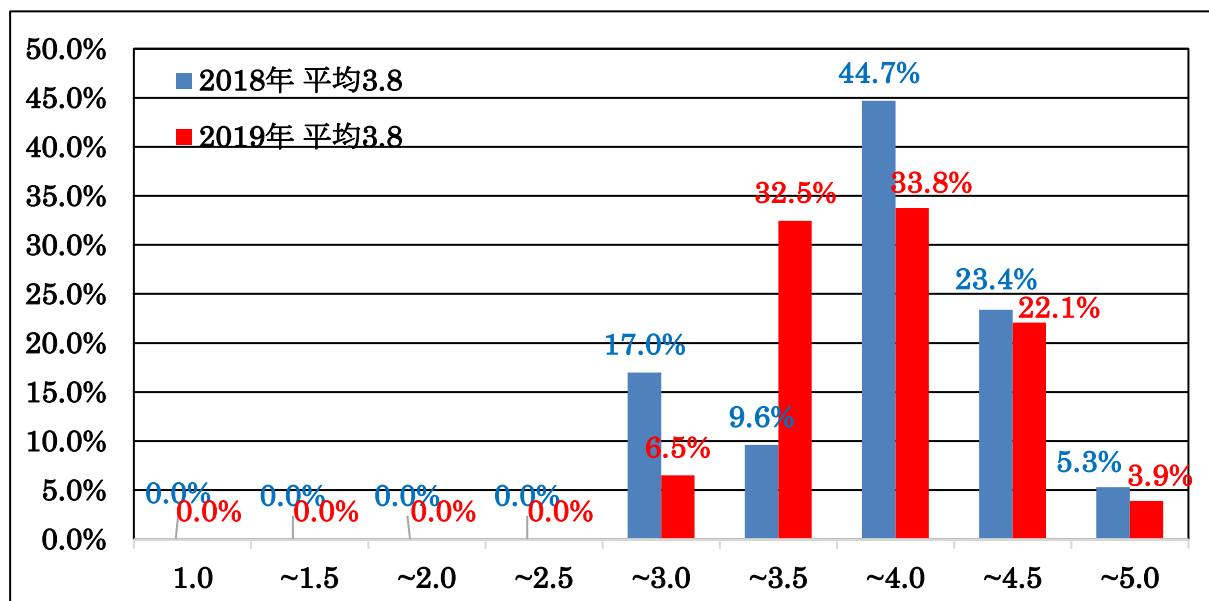


5. 授業の内容はシラバスと対応していましたか。

【前期】

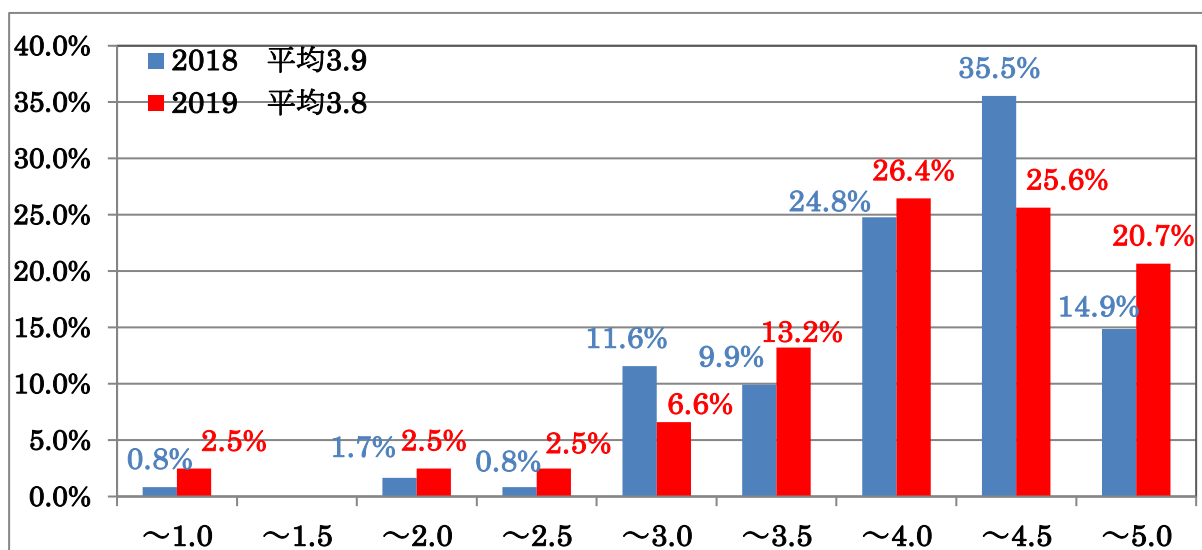


【後期】

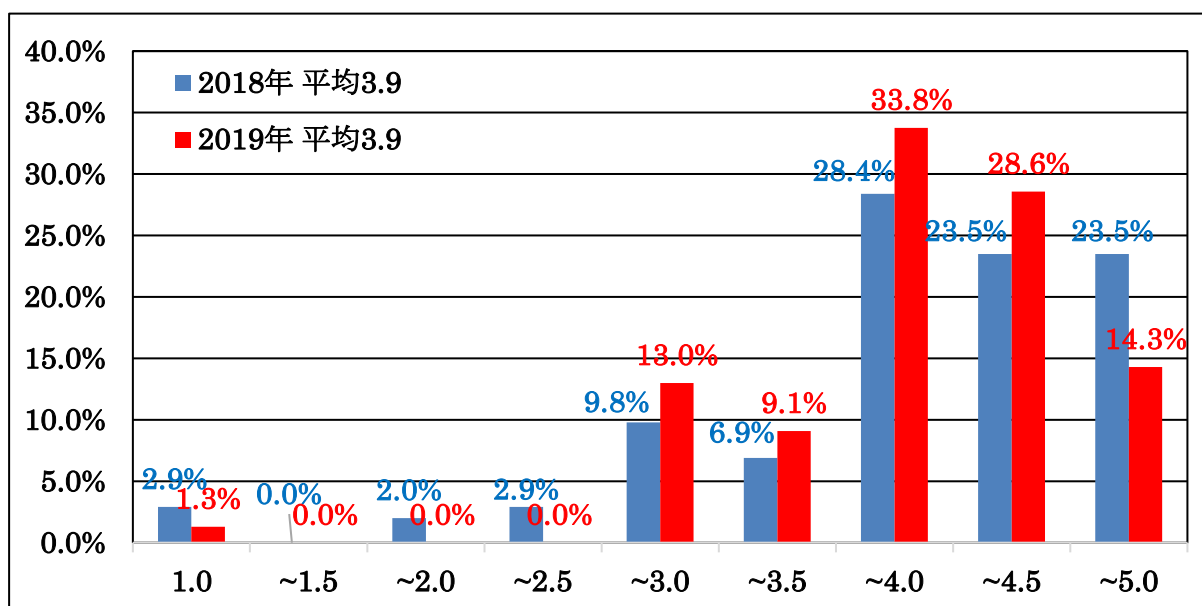


6. 授業の難易度は適切で、理解可能な範囲でしたか。

【前期】

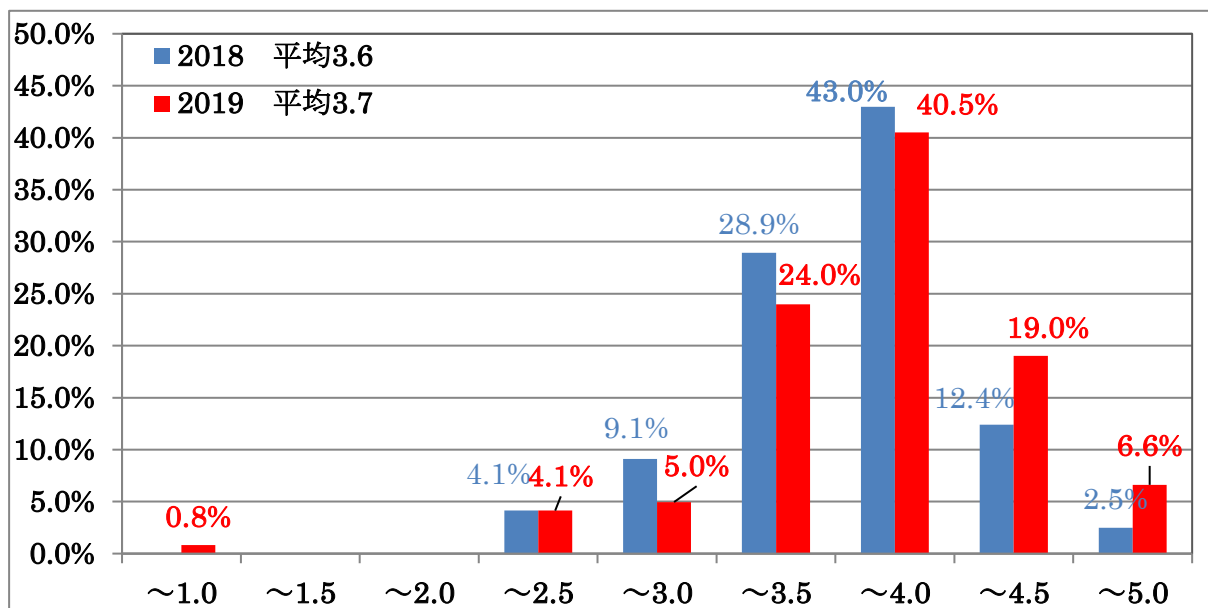


【後期】

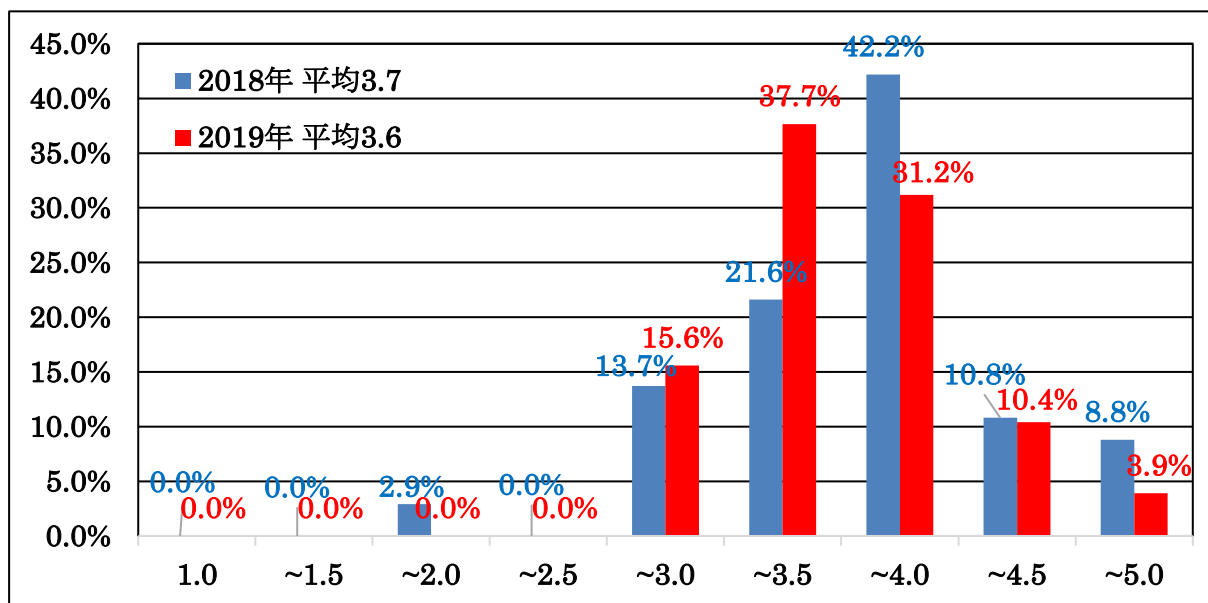


7. この授業の分野に対する関心が高まりましたか。

【前期】

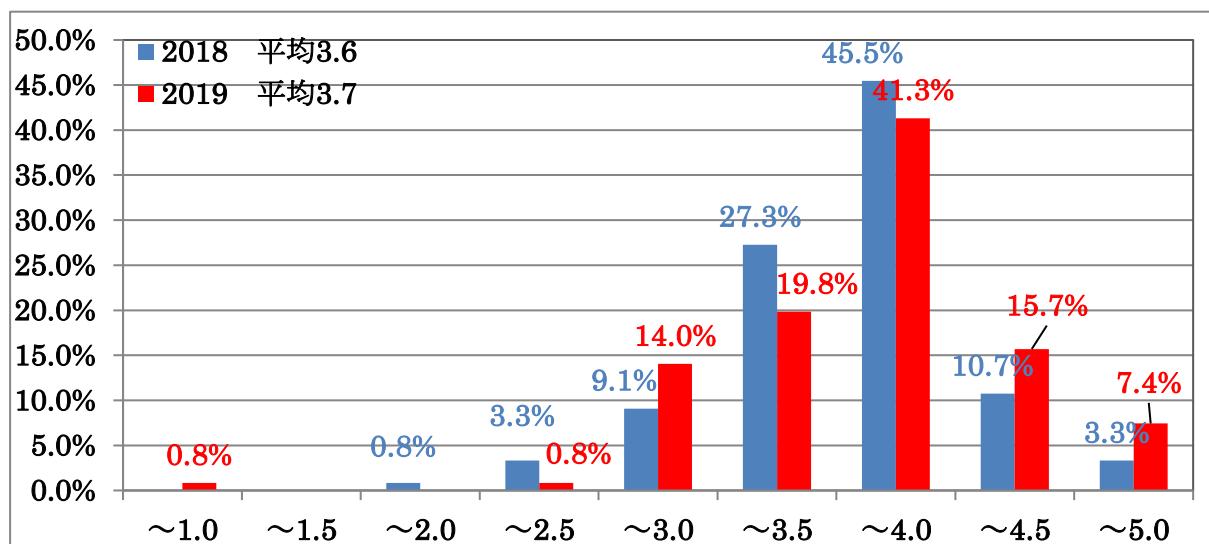


【後期】

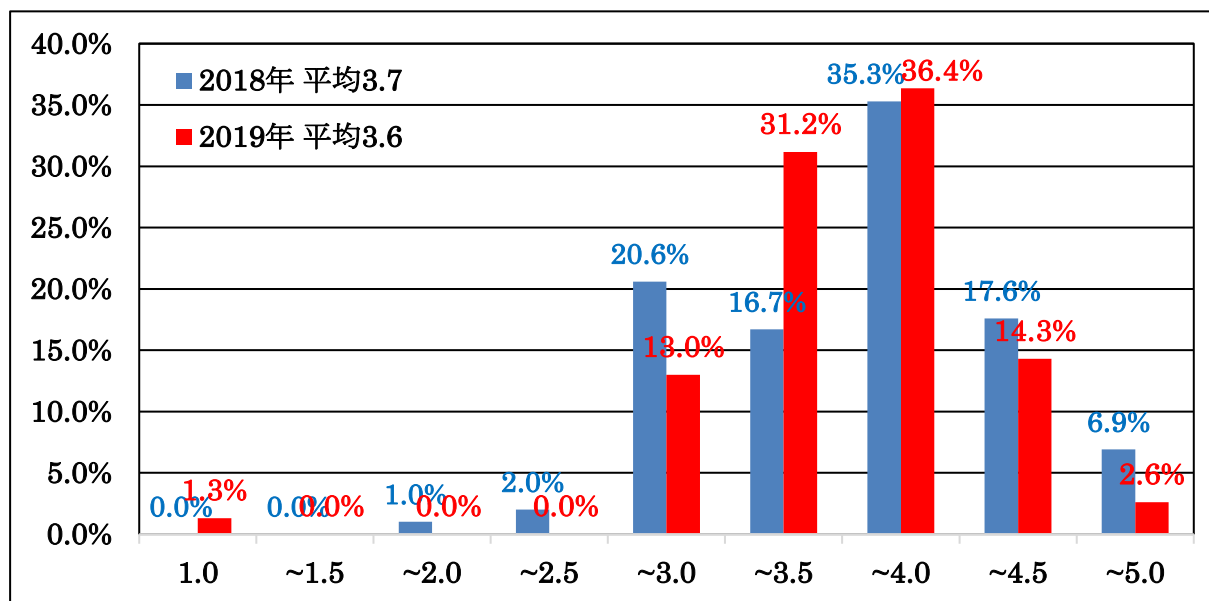


8. 黒板、視聴覚、情報機器などを使用する授業の場合、使い方は効果的でしたか。(黒板などを使用しない授業の場合は回答不要)

【前期】

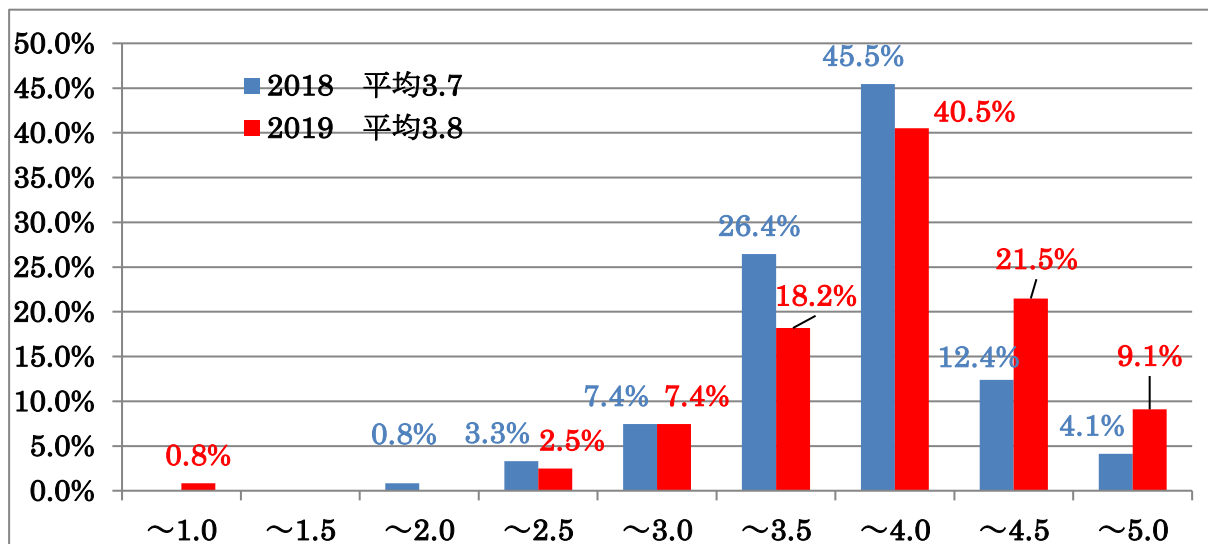


【後期】

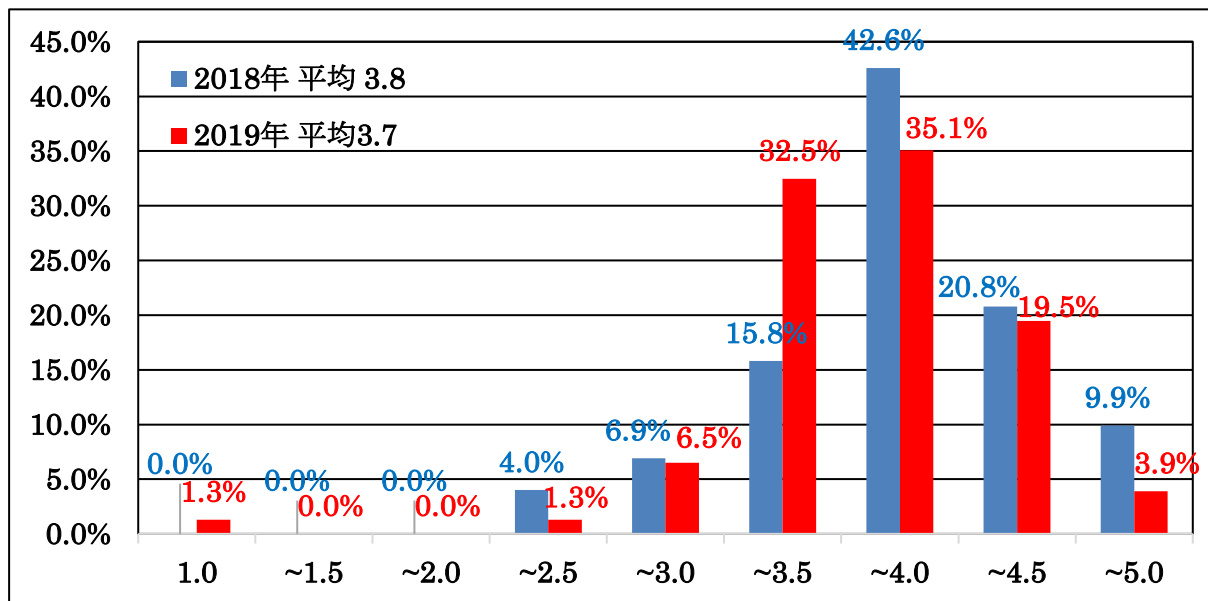


9. テキストやプリントなどの補助教材は授業内容を理解するのに役立ちましたか。

【前期】

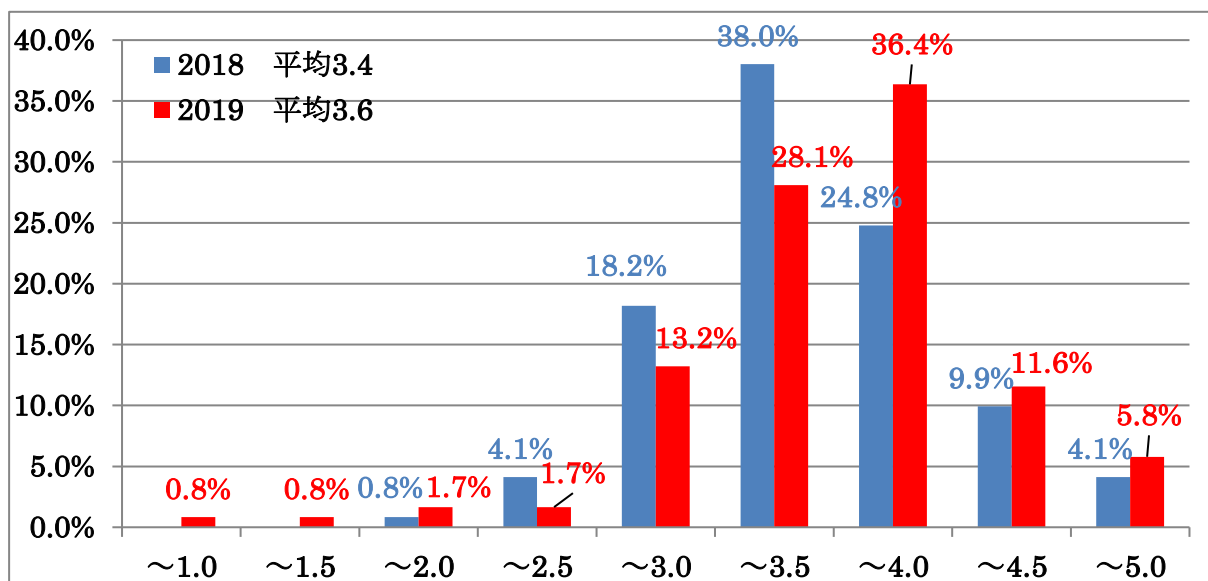


【後期】

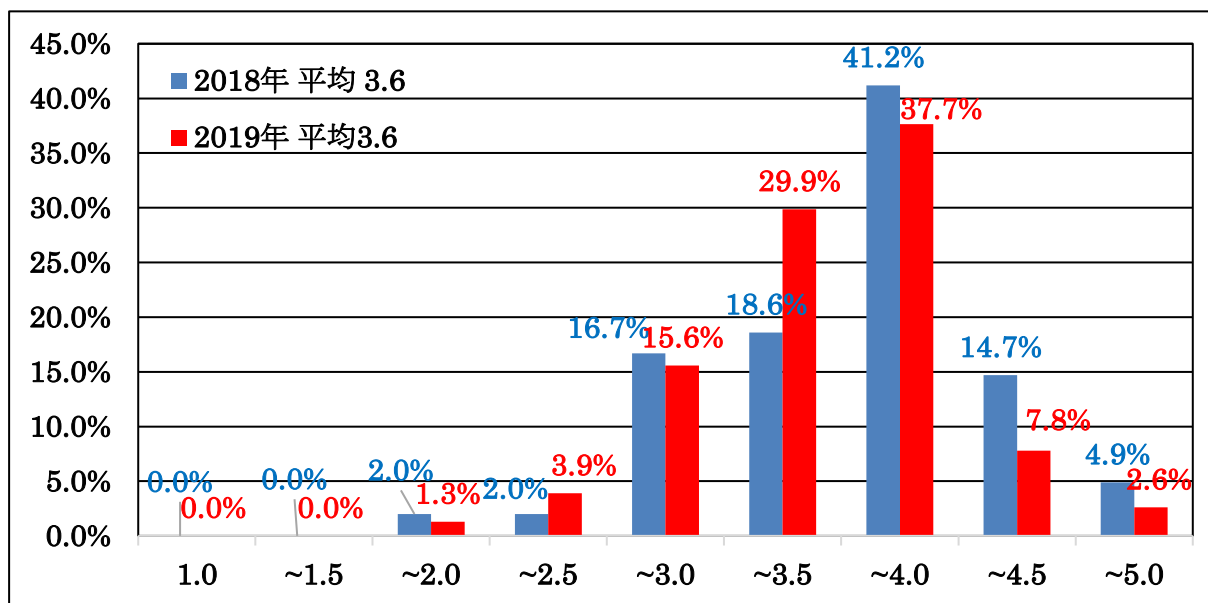


10.ノートやメモは取りやすかったですか。

【前期】

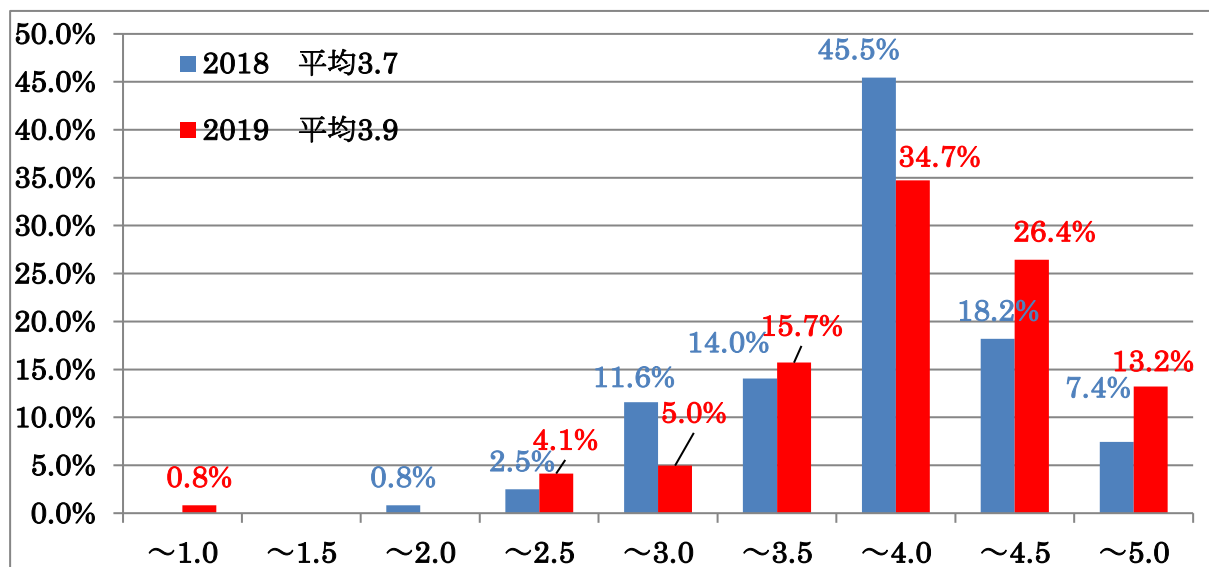


【後期】

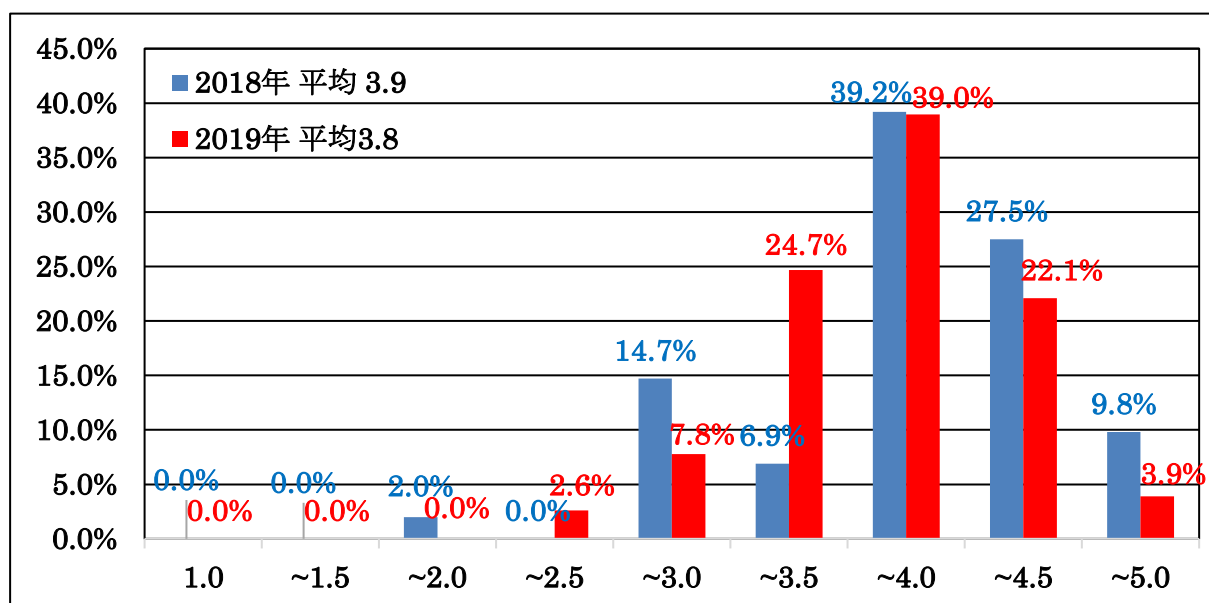


1 1 . 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。

【前期】

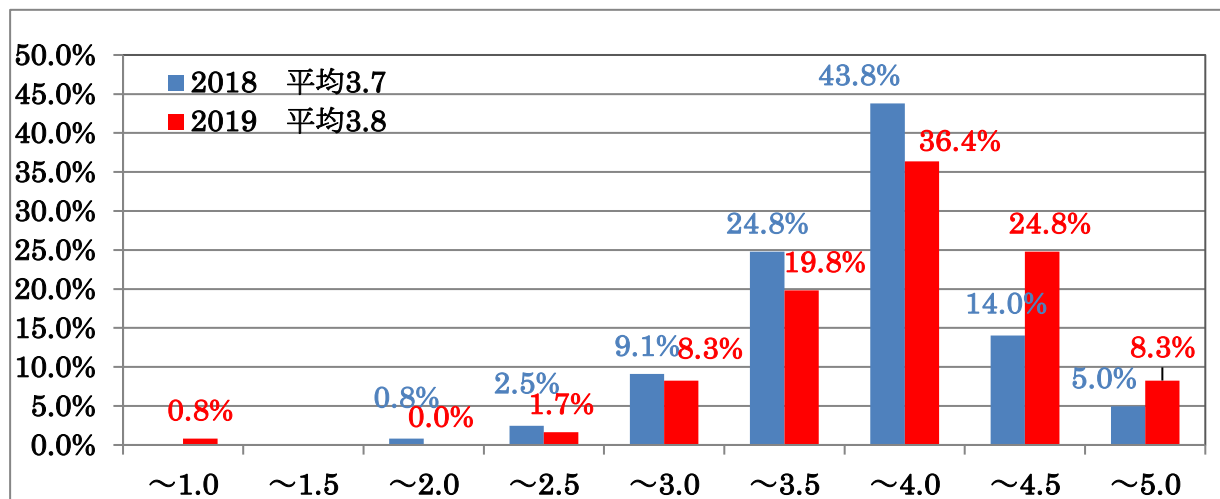


【後期】

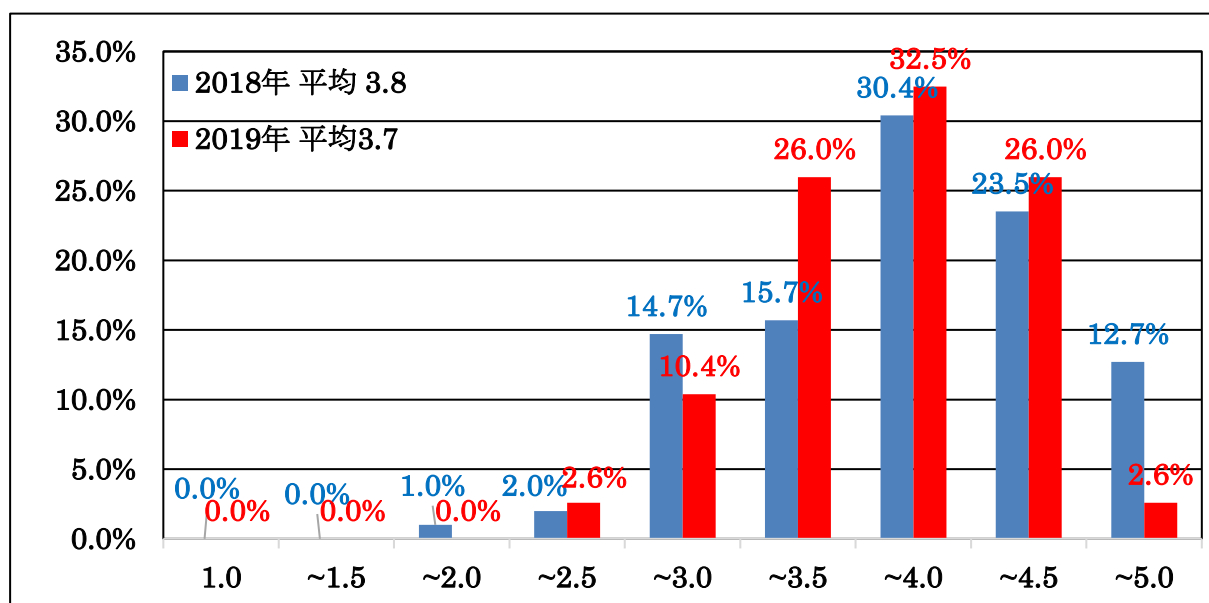


12. 理解すべき重要な箇所が強調されるなど、授業の説明は分かりやすかったですか。

【前期】

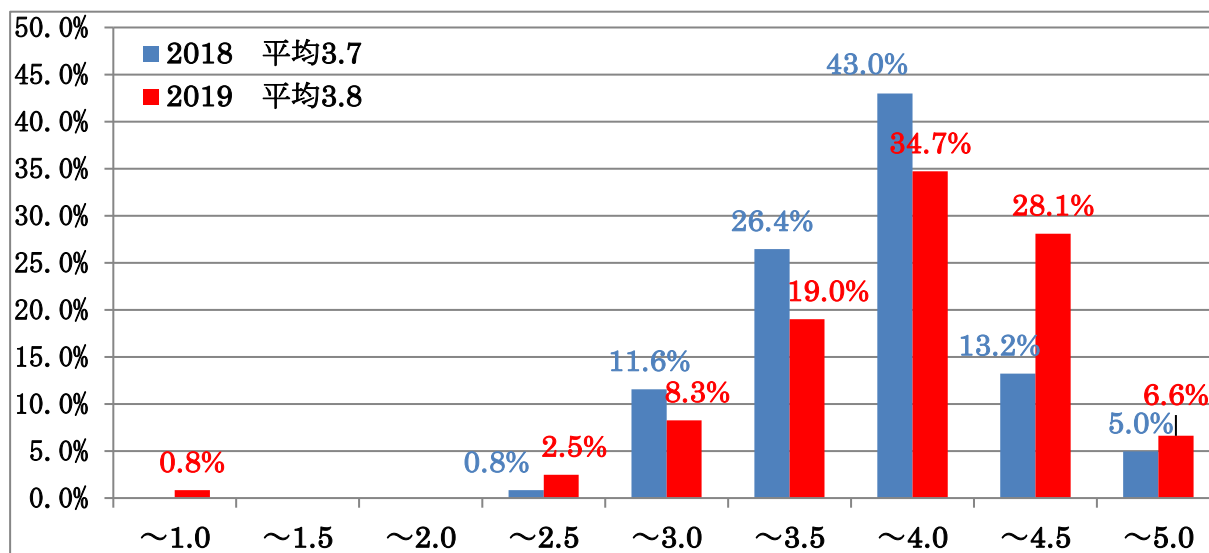


【後期】

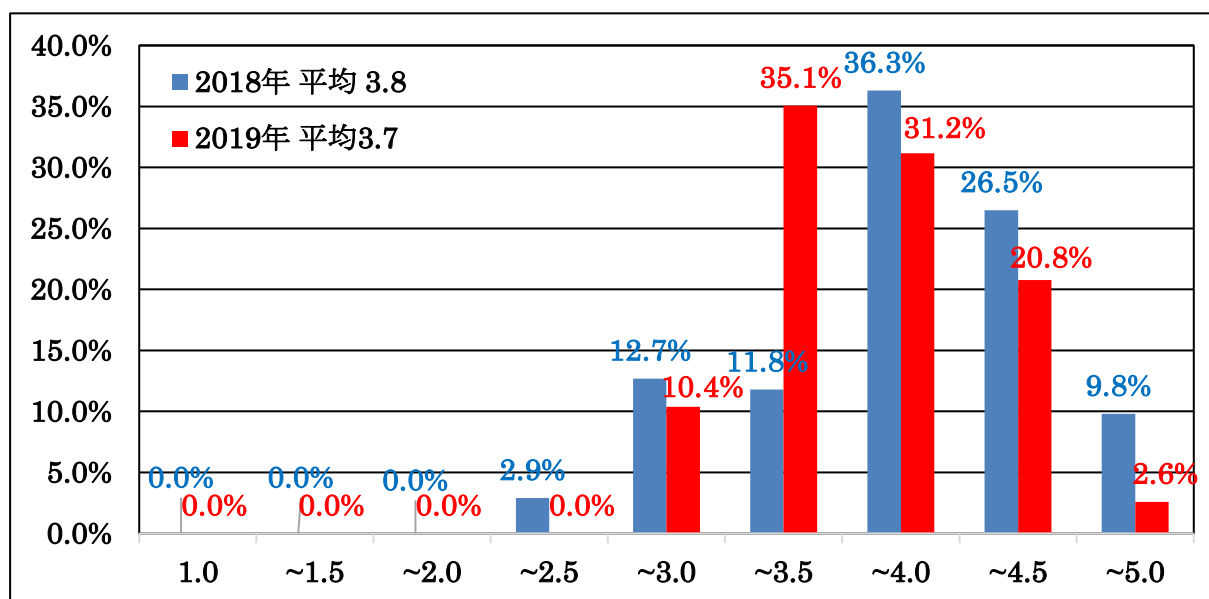


13. 教員は学生に授業への参加（質問、発言、自主的学習など）を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。

【前期】

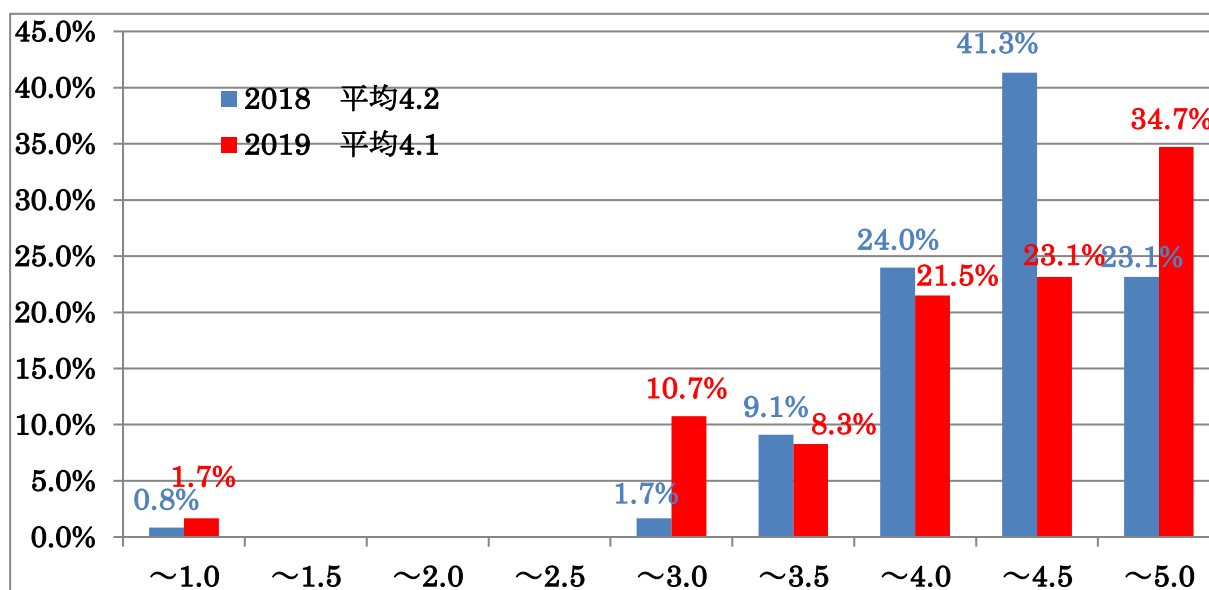


【後期】

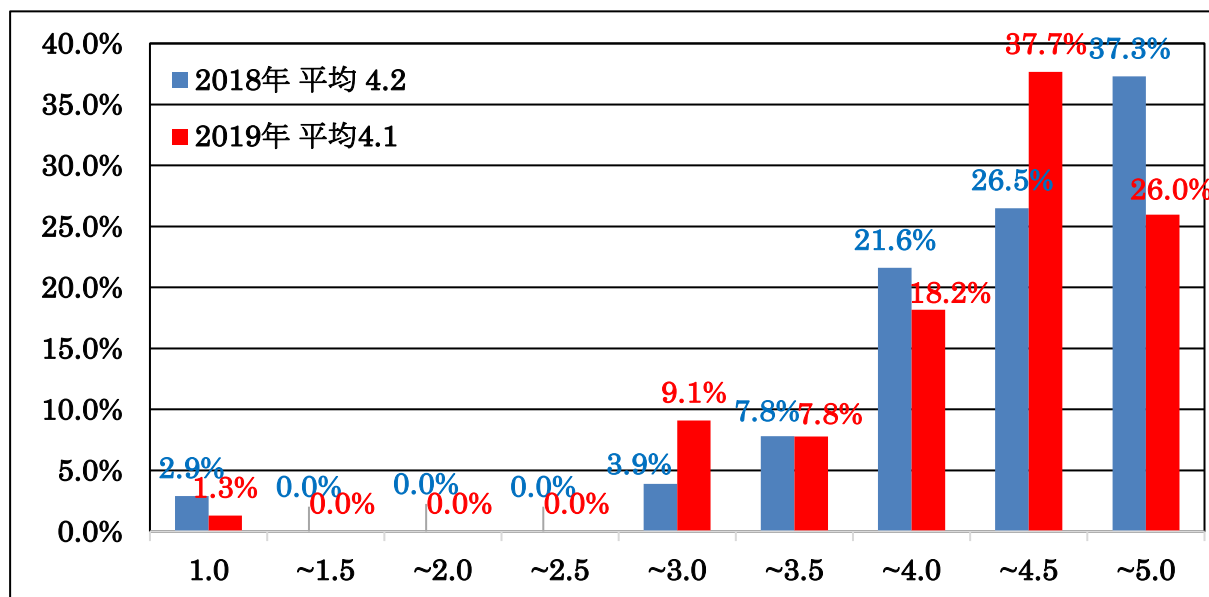


14. あなたにとって、授業の進度は適切なものでしたか。

【前期】

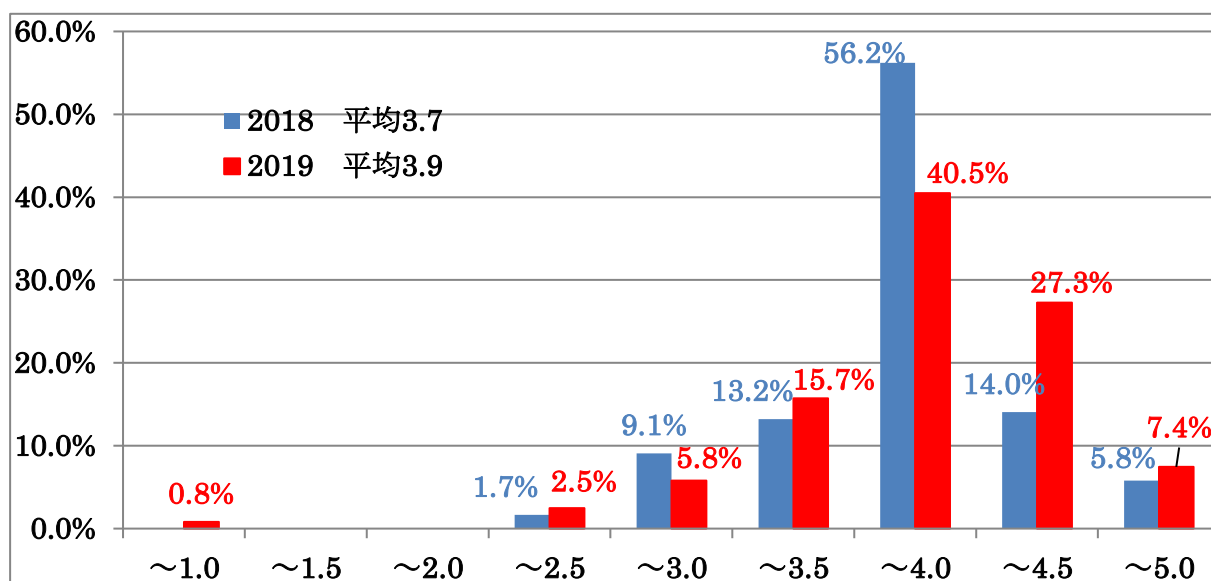


【後期】

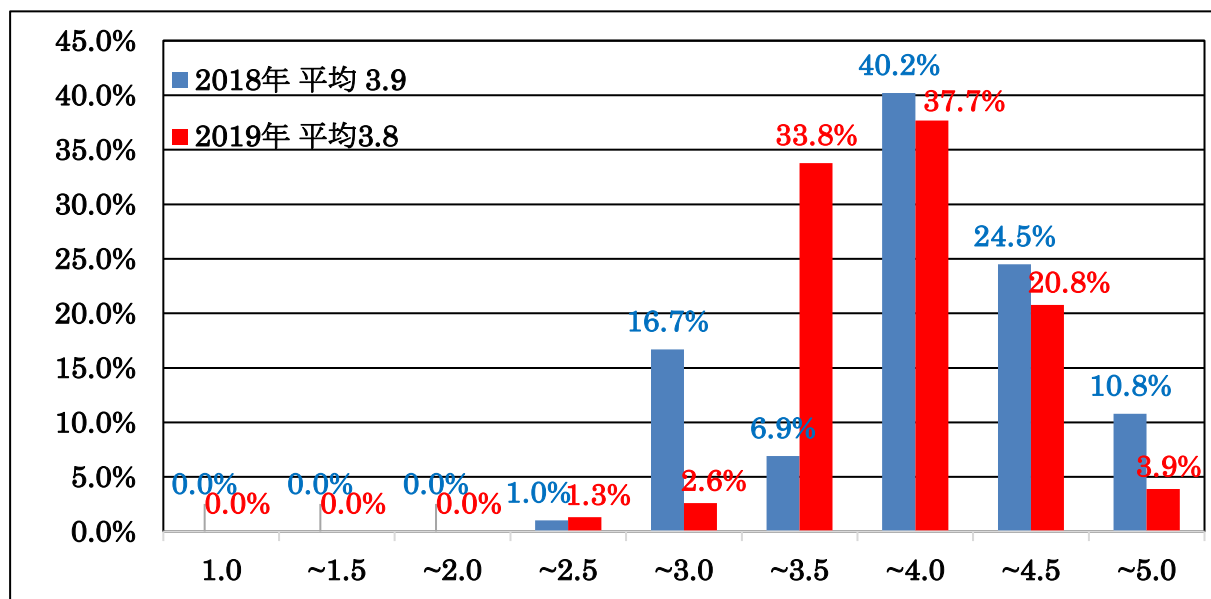


15. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

【前期】

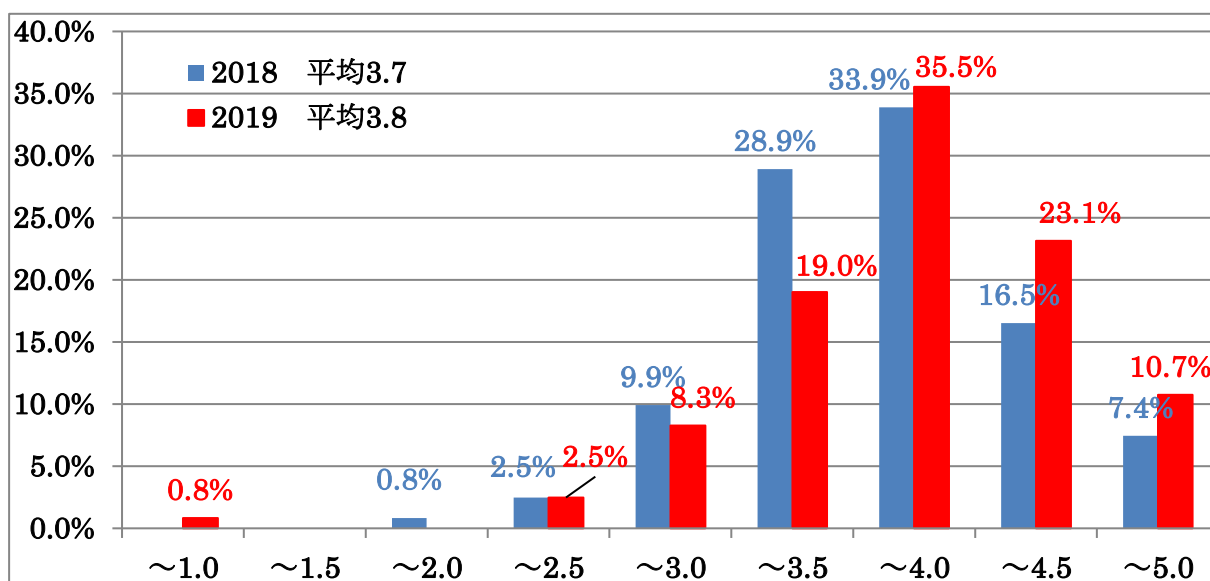


【後期】

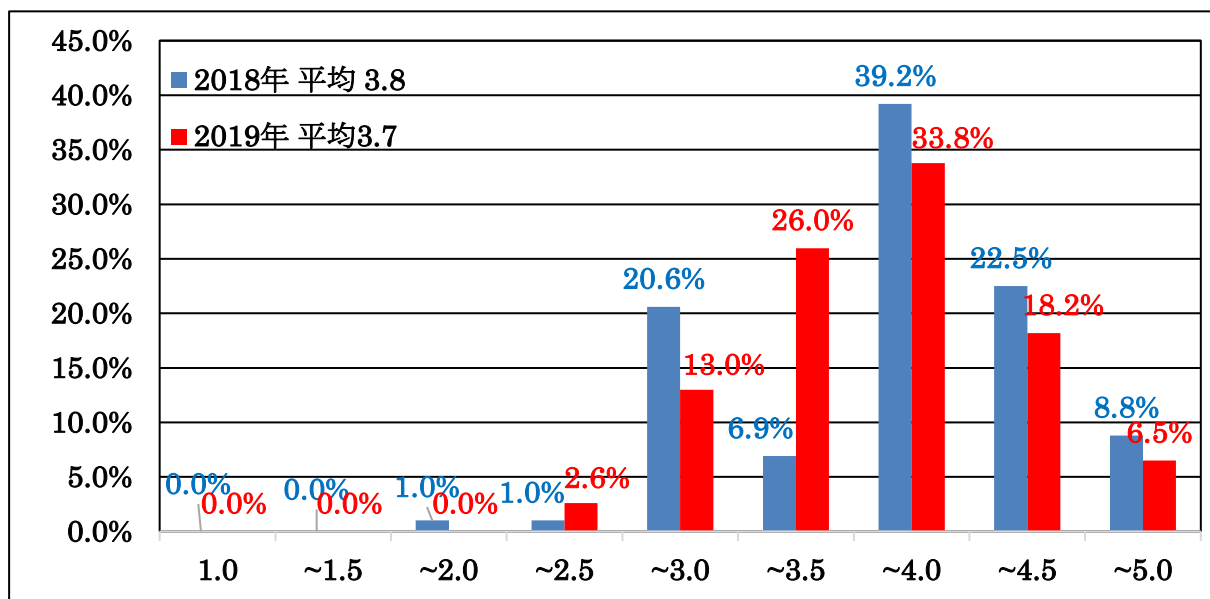


16.総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

【前期】

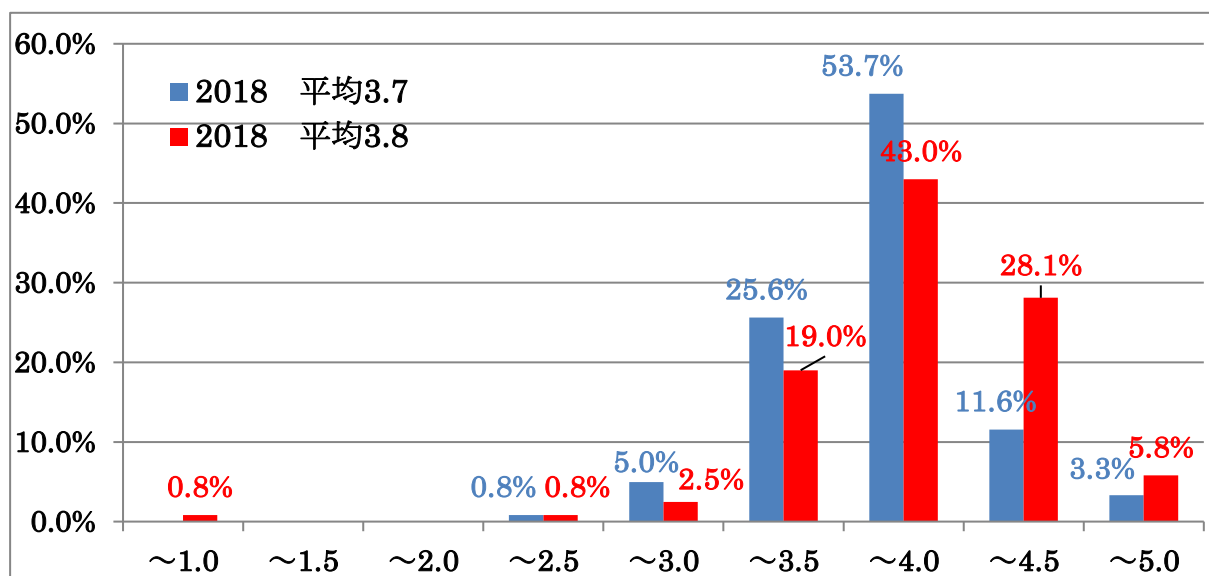


【後期】

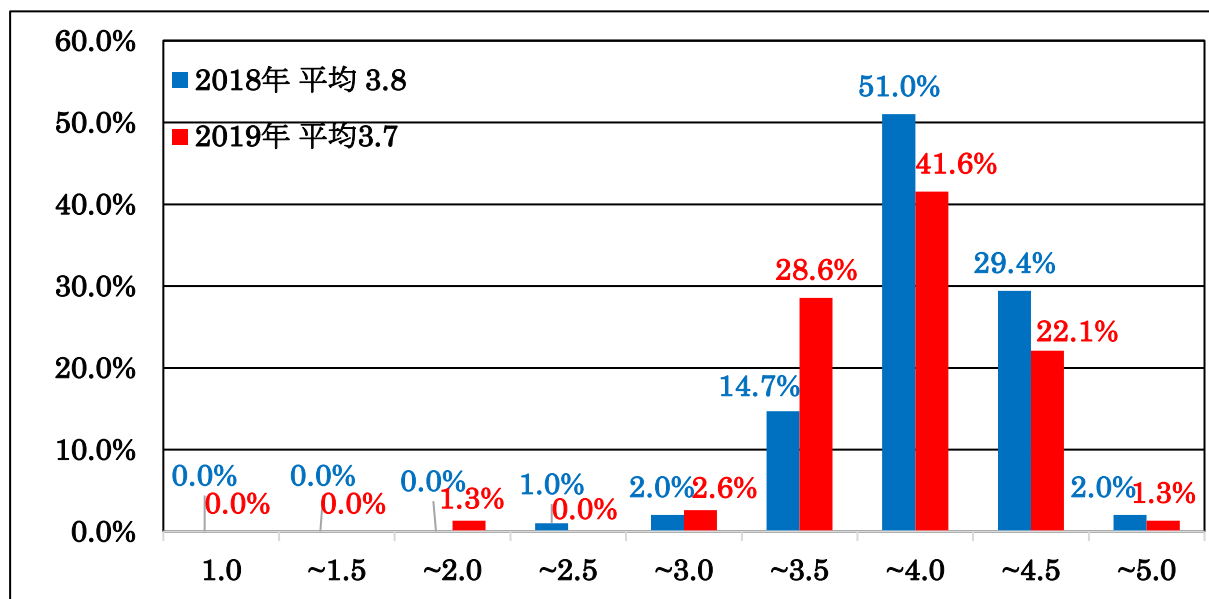


総 合（4～16 の平均値）

【前期】



【後期】



自由記載

内容	前期	後期
肯定的意見等	127 件	120 件
改善要望等	82 件	47 件
その他	1 件	0 件

平成 29 年 9 月 19 日
大学規程第 5 号

(設置)

第 1 条 大阪河崎リハビリテーション大学（以下「本学」という。）

は、本学の建学の精神及び教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を積極的に推進するために、FD・SD 委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、本学の教育・研究内容及び教育方法の向上及び教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための教職員の能力並びに資質向上のため、全学的な取組みを推進することを目的とする。

(組織)

第 3 条 委員会は次の構成員で組織する。

(1) 学長が任命した者 5 名程度（各専攻の教員 1 名以上を含む）

(2) 事務職員 若干名

2 事務職員は、学長、事務局長の協議に基づき、学長が指名する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、これを補充しなければならない。ただし、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の中から学長が指名する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長に事故又は支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。

5 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

6 委員長は議事録を作成し、学長に報告するものとし、重要な事項に

については教授会に提案し，了承を求めなければならない。

（協議事項）

第 5 条 委員会は，次の事項を協議する。

- (1) FD・SD 研修の企画・実施
- (2) 学生による授業評価の結果分析及びフィードバックに関するこ
と
- (3) 関西地区 FD 連絡協議会に関すること
- (4) FD・SD 活動に関する情報の収集と提供に関すること
- (5) その他 FD・SD の推進に関すること

2 前号第 1 号に規定する FD・SD 研修の実施に当たり，委員は講師候補者推薦書（様式第 1 号）を委員長に提出することができる。

（会議）

第 6 条 委員会は，委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議決を要する事項については，出席委員の過半数をもって決し，可否同数のときは，委員長の決するところによる。

（事務）

第 7 条 委員会の事務は，庶務係が行う。

（改廃）

第 8 条 この規程の改廃は，教授会に諮り，学長が行う。

（補則）

第 9 条 この規程に定めるもののほか，委員会の運営に関し必要な事項は，委員会が定める。

附 則

1 この規程は，平成 29 年 10 月 1 日から施行する。

2 この規程の施行に伴い，平成 17 年 12 月 5 日施行の「大阪河崎リハビリテーション大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」は，廃止する。